

大夫跡	念在吾哉	水莖之	水城之上尒	泣將拭	万葉集 卷六 968 大伴旅人
ますらをと	思へる我れや	水莖の	水城の上に	涙拭はむ	
ますらをと	おもへるわれや	みづくきの	みづきのうへに	なみだのごはむ	
ますらおだと	思っていた私も	(枕詞)	水城の上で	涙を拭ったものだ	
https://kochi-esc.sakura.ne.jp/wordpress/%e4%b8%87%e8%91%89%e3%81%ae%e5%9c%b0%e5%ad%a6/					